文京区補助金等チェックシート

所属 都市計画部地域整備課

1	補具	力金	の名	呂称等	<u> </u>											3	0年月	度調査
補	助	金	σ) 名	称					市	街地再開発	事業	業等準備組織	微補助	金			
根	拠	!	規	定	等				文京区	市行	封地再開発 事	事業	等準備組織	補助金	全交付要綱			
創		設		年	月	昭和	52	年	3	月	経過年数 [自動計算]		41年	終了	予定年月			
直	近の	り見	直	し年	月	平成	2	年	6	月	経過年数 〔自動計算〕		27年					
見	直	し	の	内	容	補助対象	者(文	京区市	方街地再	開発	善業等準備	組組	織助成要綱領	第3条の	の規定に基っ	づく)		
						款			 項		目		大事業		中事	業	実施計	画事業番
予		算		科	目	7都市整備	費	1都市藝	整備費	3市	i街地再開発	1再	F開発事業適均 成	地地区	1再開発事業 助成	適地地区	住	01-01
補	助	金	σ) 種	別	☑ 奨励	的補助) [加設運	営補	崩 □扶	助的	的補助 [投資	的補助	】利子補統	合	
2	補且	力金	のホ	既要														
補		助		目	的	基づく第	一種市 る良好	街地戸な運営	耳開発事 営と活動る	業(以下「事業」と	1/13	こ、環境の整 う。)を推進し する費用の-	ようとす	つる準備組織	に対し、耳	業の	初動
補	助哥	事業	等	の内	容	事業の初	動期に	こおける	る良好な	運営	な活動を推済	進す	するために要	する費	用の一部			
補	助対	象	経費	費の内	容		上げに (消耗品	要する	費用、会詞 費、印刷費	義費. 費、交	、講演等の実施		要する費用、他区長が特に	必要と	認めた費用			
						□区民		地域	舌動団体	:	NPO(特员	定非営利活動	加団体)□事業者		その作	也
補	助	事	業	者	等	〔特定の村	目手方に	こ補助	している:	場合	は具体的に	記入	()					
1113	-33	•	<i>></i> 1	` 1	•	本要綱第	第3条の	規定に	二基づき、	届	ナ出た助成業	才象	準備組織代	表者				
						✓定率	補	助率	補助対象 の1/2以	象に 内	要する経費)		□定額	(補助	額)
						□補助	単価	(補助	助単価				単位]	 ද ග	他	
補	助	金	σ)算	出	〔その他の	の場合	は具体	体的に記.	入〕								
						〔定額又	は補助	<u></u> 単価σ	り場合は	金額	領設定の考え	.方?	を具体的に記	己人〕				
公	募		の	状	況	非公募												
				におり 認 方		☑領収	書		!約書		 〕決算書	~	/ 成果物		その他(
						✓区単	独		負担語	割合	区 1/2	2	国	1	都	補助対象	者	1/2
補	助 •	単	独	の状	況	□補助	(区上美	乗せ無	し) 上乗t	÷Φ				-				
						□補助	(区上美	乗せ有	内家.									

3 補助金の交付の適否に関する基準 [○:適合、△:適合しているが課題あり、×:不適合、-:非該当]

項目	内容	判定	判定の理由(Δ、×の場合のみ記載)
	補助事業等が、社会情勢や区民ニーズに適合しているか	0	
必要性	基本構想、実施計画、個別計画等の区の政策に適合しているか	0	
(公益性)	区と区民等の役割分担の中で、区が補助すべき事業であるか	0	
	実施しなかった場合に大きなマイナスの影響が生じるか	0	
公平性	補助要件に該当する補助事業者等であれば、誰でも補助金の申請をする機会が確保されているか	0	
A T II	交付先は適正な手続きによって決定されているか	0	
	補助金の交付以外の代替策はないか	0	
効率性	補助金の交付による効果が認められるか	0	
(有効性)	補助金額に見合う具体的効果が認められるか	0	
	事業実施の効果が広く区民に還元されているか	0	
適正性 (適格性)	法令等に抵触していないか	0	
(妥当性) ※個人等 の補助金	団体等の活動内容が補助目的と合致しているか	0	
については 不要	団体等の会計処理や補助金の使途が適正か	0	

4 交付実績 (件、千円)

4 文门关根								
	項目	27年度(決算)	28年度(決算)	29年度(決算)	30年度(予算)			
交付(見込み)件数		0	0	0	0			
決算(予算)額		0	0	0	0			
	国庫支出金	0	0	0	0			
	都支出金	0	0	0	C			
	その他	0	0	0				
	一般財源	0	0	0	C			
29年度補助事業等の状況 30年度予算としては、「市街地再開発事業等準備組織助成金」とあわせて、いずれか1件の交付見込る (交付団体名、成果等) して予算化している。								

5 課題及び今後の方向性

都市マスタープラン、地区まちづくり基本計画を踏まえ、市街地再開発事業等の準備段階において住民の組織化、 団体運営及び調査等に対し、区として助言・援助を行う。